あいぽーと通信

平成29年（2017）12月発行
第43号

トピックス Topics

- 平成29年度 人権に関する児童生徒の作品 表彰式・発表会・展示会
- 特集：障がいがある人もない人もともに暮らせるまちづくり
- あいぽーと徳島 実施事業のご案内、イベント情報など

あいぽーと徳島では、さまざまなイベントを開催しています！

平成29年度 人権に関する児童生徒の作品 表彰式・発表会・展示会

12月3日（日）徳島県立二十一世紀館イベントホールにて人権に関する児童生徒の作品表彰式・発表会・展示会（展示会は10日まで）を開催しました。

県内小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の児童生徒を対象とし、「ひといのちふれあい」をテーマに人権作品を募集し、意見発表に係る作文・作詩作曲・標語ポスターの3部門に、総数62,654作品の応募をいただいた中から、152点の作品を表彰しました。

表彰式では、知事賞受賞14作品、教育長賞受賞49作品に賞状が授与され、発表会では、知事賞・教育長賞を受賞した作品のうち、意見発表に係る作文5作品、作詩作曲7作品、計12作品が発表されました。発表者のメッセージが、聴く人の心を打ち、身のまわりの人権について振り返る機会となりました。

展示会では標語ポスターの知事賞・教育長賞・理事長賞受賞全125作品が12月10日（日）まで、展示されました。

作品には、自分の身のまわりの出来事を振り返りながら、日常生活の中で人権を大事にしていこうとする、児童生徒の思いが込められています。人権問題を他人事でなく自分のこととしてとらえた、心温まる作品が多くありました。来場者からは「まわりの人とのあたたかい関わりがよく伝わってくる」「たくさんの人に見て、聴いてもらいたい」という意見が寄せられました。

あいぽーと徳島情報

あいぽーと通信 43号

冬休み親子参加型事業
「紙で工作門松」と「ねんどで工作ミニお正月かざり」親子でつくってみよう！

参加無料 ※申込不要

作ったかざりをかざって、いろいろなお正月のお話を家族に聞いてみよう！

紙工作「紙で工作「門松」」と、粘土工作「ねんどで工作「ミニお正月かざり」」、好きな工作を選んで親子で自由につくろう！

- 日　時／平成29（2017）年12月27日［水］午前10時30分～午後4時
- 会　場／沖洲マリンターミナルビル2階 マリンホール（徳島市東沖洲2丁目14）
- 主催・問い合わせ／あいぽーと徳島（徳島県立人権教育啓発推進センター）Tel.088-664-3719

同和問題講演会 部落差別解消推進法を読む

参加無料 ※申込不要

人権は、私たちの生活を支える大切なものです。
人権が尊重され、差別や偏見のない社会を築くためには、私たち一人ひとりが人権問題を自分自身の問題として考え、行動することが大切です。

- 日　時／平成30（2018）年2月3日［土］午後1時30分～午後3時30分
- 会　場／JA会館 本館8階「特別室」（徳島市北佐古一番町5-12）Tel.088-634-2662
- 主催・問い合わせ／あいぽーと徳島（徳島県立人権教育啓発推進センター）Tel.088-664-3719

講師：奥田 均（おくだ ひとし）さんプロフィール

1952年生まれ、関西大学文学部教育学科卒業、関西外国語大学教員などを経て、現在近畿大学人権問題研究所教授 博士（社会学）、一般社団法人 部落解放・人権研究所 代表理事、一般財団法人 大阪府人権協会 理事、一般財団法人 八尾市人権協会 理事長、NPO法人 就労・生活・まちづくり支援機構　理事　ハンセン病市民学会運営委員

第3回県民講座 互いの違いを認め合い、多様性あふれる社会へ ～見た目の症状とともに自分らしく生きる～

参加無料 ※申込不要

- 講 師／○講演の部 外川 浩子さん（とがわ ひろこ） NPO法人マイフェイス・マイスタイル(MFMS)代表
  ○公演の部（一人芝居） 河除 静香さん（かわよけ しずか） Smiley Tomorrow ～北陸から見た田間題を考える～ 代表
- 日 時／平成30（2018）年2月10日［土］ 午後1時30分～午後3時45分
- 会 場／あわぎんホール5階小ホール （徳島県郷土文化会館）徳島市藍場町2丁目14
- 主催・問い合わせ／あいぽーと徳島（徳島県立人権教育啓発推進センター）Tel.088-664-3719

第2回特別展示 「見た目問題」の解決に向けて ～「見た目」の症状とともに自分らしく生きる～

参加無料 ※申込不要

- 展示期間／平成30（2018）年2月10日［土］～3月3日［土］ ※2月13日(火)及び展示期間中の月曜日は休館日
- 展示場所／あいぽーと徳島 展示・交流スペース
- 協　力／NPO法人マイフェイス・マイスタイル（http://mfms.jp/）
- 主催・問い合わせ／あいぽーと徳島（徳島県立人権教育啓発推進センター）Tel.088-664-3719

「見た目問題」とは　美人、イケメン…それもたしかに「見た目」の問題ですが、私たちが取り組んでいるのは、生まれつき顔にアザがあったり、事故や病気で顔や身体が変形・欠損したり、やけど、脱毛、マヒなど「見た目」に症状があるみなさんが日々ぶつかっている問題です。ジロジロ見られたり、心ない言動に傷つけられたり、しかし、生命の危機も治療の緊急性も少ない「見た目問題」は、難病に指定されにくいなど軽く考えられがちです。そんな過酷な経験をしながら逆境を乗り越えて成長する姿を紹介します。社会がこうした問題に対する認識を深めて、総合的な支援に広がればと思います。

発達障がいのピアニストからの手紙

参加無料

ミニ演奏会　発達障がいのピアニスト・野田あすかさん
講　演　母・野田恭子さん

- 日　時／平成30（2018）年1月21日［日］ 午後1時30分～午後3時（開場午後1時10分）
- 会　場／ときわプラザ 「ブライダルコアときわホール」 （徳島市山城町東浜傍示1 アスティとくしま内）
- 主催・問い合わせ
  ○あいぽーと徳島（徳島県立人権教育啓発推進センター） Tel.088-664-3719
  ○ときわプラザ（徳島県立男女共同参画交流センター）

※要申込【応募締切1月5日(金)】 ※定員135名

野田あすか（ピアニスト）さん主な出演番組

- TBS系「中居正広の金曜日のスマイルたちへ」(2017.07.28)
- フジテレビ系「ノンストップ!」(2017.06.13)
- TBS系「中居正広の金曜日のスマイルたちへ」(2016.12.02)
- NHK総合「おはよう日本」(2015.05.02)
- NHKラジオ深夜便「明日へのことば」(2015.10.08) など

犯罪被害者の人権
インターネットに潜む危険なワナ ～加害者や被害者にならないためにすること～

参加無料 ※申込不要 ※定員200名

- 日　時／平成30（2018）年2月17日［土］午後1時30分～午後3時
- 会　場／徳島県立中央テクノスクール「ろうきんホール」 （徳島市南末広町23-64）
- 主催・問い合わせ／あいぽーと徳島（徳島県立人権教育啓発推進センター） Tel.088-664-3719
- 後　援／公益財団法人 徳島被害者支援センター

講師：スマイリーキクチさん（タレント）プロフィール

平成5年1月コンビ「ナイトシフト」結成。平成6年6月解散。
現在は一人で活躍中。東京北千住生まれの下町育ち。この笑顔とおだやかな口調ながら、するどい切り口のトークが特徴。また自身のネット中傷被害の経験を活かし、講演活動を行っている。

拉致被害者の人権
夢と絆～翻弄された運命の中で～

参加無料 ※申込不要 ※定員750名

- 日　時／平成30（2018）年3月3日［土］午後1時30分～午後3時
- 会　場／徳島県教育会館 大ホール（徳島市北田宮1-8-68）
- 主催・問い合わせ／あいぽーと徳島（徳島県立人権教育啓発推進センター） Tel.088-664-3719

講師：蓮池 薫（はすいけ かおる）さんプロフィール（新潟産業大学経済学部准教授・拉致被害者）

- 1957年新潟県柏崎市生まれ。
- 中央大学法学部3年在学中に拉致され、24年間、北朝鮮での生活を余儀なくされる。
- 帰国後、1年間の市役所勤務を経て、新潟産業大学嘱託職員・非常勤講師として働くかたわら、中央大学に復学。
- 2005年には初の訳書『孤将』を刊行。
- 2008年3月 復学していた中央大学 卒業。
- 2013年3月 新潟大学大学院博士前期課程 修了。
- 2013年4月 現在 新潟産業大学経済学部 准教授。

第5回徳島カラーフリー文化祭

- 日　時／平成30（2018）年3月11日［日］時間未定
- 会　場／ときわプラザ（徳島県立男女共同参画交流センター） 「ブライダルコアときわホール」（徳島市山城町東浜傍示1 アスティとくしま内）
- 主　催／○SAG徳島　鳴門教育大学　葛西研究室内 ○あいぽーと徳島（徳島県立人権教育啓発推進センター） Tel.088-664-3719

徳島カラーフリー文化祭は、音楽、演劇、服装、写真、絵画、研究などを通して、性の多様性を表現するお祭りです。性の多様性による様々な表現から、「様々な性のあり方」を見て、知って、感じてみようということを目的に開催します。

人権相談のご案内

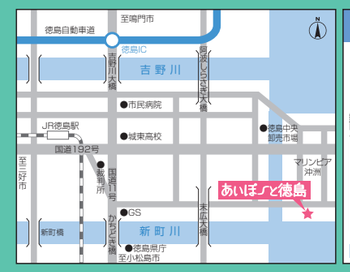
あいぽーと徳島では、人権擁護委員・弁護士による人権相談を行っています。まずは電話にてご連絡ください。

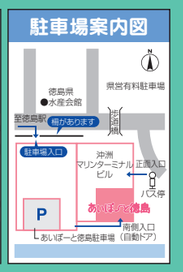
Tel.088-664-3701

一人で悩まずお電話を

- 人権擁護委員による相談 第2・第4土曜日（10:00～16:00） 面接相談及び電話相談
- 弁護士による相談（要予約） 第1・第3金曜日（13:00～16:00） 面接相談

［編集・発行］
あいぽーと徳島
徳島県立人権教育啓発推進センター
指定管理者 特定非営利活動法人 徳島ヒューマンネット
〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14 沖洲マリンターミナルビル内
Tel.088-664-3719 Fax.088-664-3727
あいぽーと徳島 検索　http://www.aiport.jp





- 開館時間／午前10時から午後6時まで　●休 館 日／月曜日（祝日の場合はその翌日）年末年始（12月29日から1月3日まで）

公共交通機関のご案内　JR徳島駅前から徳島市営バス【中央卸売市場】行きに乗車し、【沖洲マリンターミナル】にて下車。

特集

障がいがある人もない人もともに暮らせるまちづくり

～障害者差別解消法の視点から考える～

第2回県民講座　●平成29（2017）年10月20日実施

講師　玉木幸則（たまきゆきのり）さん

社会福祉法人　西宮市社会福祉協議会　職員

講演内容

■多様性を認める社会を

今日お話しさせていただくテーマのひとつは、「ダイバーシティ」です。この言葉は「多様性」という意味で、それぞれが違いを認めていく社会のことです。

私は今、NHKの『バリバラ』という番組に出演していますが、10年前にはまさか自分がテレビに出るとは思ってもいませんでした。この番組には2年前まで『障害者のためのバリアフリーバラエティー』というサブタイトルが付いていましたが、2016年に『みんなのためのバリアフリーバラエティ』と変えられています。暮らしづらさとか生きづらさというのは誰もが抱えているのだから、みんなが暮らしやすい社会をどう作っていくかをみんなで考えていく、という意味があるそうです。

■「障がい」の本質

何をもって障がいというのかを、もう一度考え直さないといけない時期にきていると思います。今日集まった皆さんの中で、生きづらさをまったく感じてないという人はいないのではないでしょうか。自分自身の個性によるもののみならず、社会の環境によるものなど、生きづらさは誰にでもあると思います。

『バリバラ』が始まった当初、「バラエティ」という言葉からお笑いのイメージが強くて誤解を生み、番組に対してお叱りの言葉が多く寄せられました。しかし例えば様々な商品を詰め合わせた「バラエティセット」という言葉があるように、バラエティという言葉の意味は決して笑いを表すのではなく、「いろいろな」という多様性を示すものです。冒頭の「ダイバーシティ」とも通じるものがあります。『バリバラ』に付けられた「バラエティ」という言葉も、いろいろな問題をいろいろな角度から考えていくという意味があります。

■無意識による差別

障がい者の作品展が新聞などで紹介される時、「障がいを乗りこえて作品展開催」という見出しとともに紹介されることが多いのですが、それは一方的な思い込みであり、これこそ差別なのではないでしょうか。ヘイトスピーチ以外の差別は、無意識のうちに行われるのです。

テレビなどで障がい者を感動的に扱う場合、そこにあるのは「感動の一方的な押しつけ」にしか過ぎません。本当の感動とは一緒に笑ったり怒ったり感動したり、お互いの思いをすり合わせていくことで生まれるはずです。本人がどうしたいかを考えた上で合理的に配慮し、その実現に向けて一緒に考えていくことが大切なのです。

世間では障害者手帳を持っている人を障がい者と呼びますが、じつは障がいは人々が地域の中に生きづらさを感じる状態のことを言うのではないか、と私は考えます。個人個人が障がいを抱えているのではなく、地域社会やそれを作ってきた人たちの意識に本当の障がいが潜んでいて、それを変えていく必要があるのではないか。いくら差別を禁止する国際条約や国内法ができても、まずそれを活かす国民の意識を変えていかなければ、何も変わらないのではないでしょうか。

ピープルファースト、つまり障がい者をまずひとりの人間としてとらえることを念頭に置き、「こんな社会にしたい」という理想をしっかり持っていただきたいと思います。

国連障害者権利条約

第8条　意識の向上

1　締約国は、次のことのための即時の、効果的なかつ適当な措置をとることを約束する。
(a)障害者に関する社会全体（各家庭を含む。）の意識を向上させ、並びに障害者の権利及び尊厳に対する尊重を育成すること。
(b)あらゆる活動分野における障害者に関する定型化された観念、偏見及び有害な慣行（性及び年齢に基づくものを含む。）と戦うこと。
(c)障害者の能力及び貢献に関する意識を向上させること。

2　このため、1の措置には、次のことを含む。
(a)次のことのための効果的な公衆の意識の啓発活動を開始し、及び維持すること。
(i)障害者の権利に対する理解を育てること。
(ii)障害者に対する肯定的認識及び一層の社会の啓発を促進すること。
(iii)障害者の技能、長所及び能力並びに職場及び労働市場に対する障害者の貢献についての認識を促進すること。
(b)境域制度の全ての段階（幼年期からの全ての児童に対する教育制度を含む。）において、障害者の権利を尊重する態度を育成すること。
(c)全ての報道機関が、この条約の目的に適合するように障害者を描写するよう奨励すること。
(d)障害者及びその権利に関する啓発のための研修計画を促進すること。

第19条　自立した生活及び地域社会への包容

この条約の締約国は、全ての障害者が他の者と平等の選択の機会をもって地域社会で生活する平等の権利を有することを認めるものとし、障害者が、この権利を完全に享受し、並びに地域社会に完全に包容され、及び参加することを容易にするための効果的かつ適当な措置をとる。この措置には、次のことを確保するためによるものを含む。
(a)障害者が、他の者との平等を基礎として、居住地を選択し、及びどこで誰と生活するかを選択する機会を有すること並びに特定の生活施設で生活する義務を負わないこと。
(b)地域社会における生活及び地域社会への包容を支援し、並びに地域社会からの孤立及び隔離を防止するために必要な在宅サービス、居住サービスその他の地域社会支援サービス（個別の支援を含む。）を障害者が利用する機会を有すること。
(c)一般住民向けの地域社会サービス及び施設が、障害者にとって他の者との平等を基礎として利用可能であり、かつ、障害者のニーズに対応していること。

（講師資料より抜粋）

国連の人権条約と障害者

国連の9大人権条約

・人種差別撤廃条約（国連の採択年1965年・日本の締結年1995年）
・国際人権自由権規約（1966年・1979年）
・国際人権社会権規約（1966年・1979年）
・女性差別撤廃条約（1979年・1981年）
・拷問等禁止条約（1984年・1999年）
・子どもの権利条約（1989年・1994年）
・移住労働者の権利条約（1990年・未締結）
・強制失踪条約（2006年・2007年署名・2014年批准）
・障害者の機会均等に関する基準規則（1993年 採択48/96）
・サマランカ宣言 ユネスコ（1994年）

（講師資料より抜粋）

玉木さんの著書
『生まれてきてよかった　てんでバリバラ半生記』
解放出版社

プロフィール
社会福祉法人西宮市社会福祉協議会職員
1968年兵庫県姫路市に仮死状態で生まれる。4歳そこそこで肢体不自由児療育施設に入所、障害者としての洗礼を浴びる。小中学校は、地元の普通学級で学ぶも、高等学校だけ泣く泣く養護学校へ。1991年日本福祉大学社会福祉学部第Ⅱ部卒業後、知的障害者通所授産施設に勤務すること1年で退職。1992年自立生活センター・メインストリーム協会事務局次長に就任以後、障害者の自立生活運動にのめりこむ 2009年4月～2012年3月まで
NHK Eテレ「きらっといきる」パーソナリティを務める
NHK Eテレ毎週日曜日19:00～19:29 みんなのためのバリアフリー・バラエティ「バリバラ」にレギュラー出演中

入荷図書・DVD情報

その他、新しく入荷した図書・DVD情報は、あいぽーと徳島のホームページ「お知らせコーナー」をご覧ください。

DVD　考えよう！ハラスメントvol.2 LGBTを知ろう

図書　ボクたち家族の愛しかた　長尾和宏 監、丸尾多重子 著　北川なつ まんが/イラスト

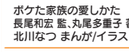
図書　車いすはともだち　城島充

図書　日本一心を揺るがす新聞の社説　水谷もりひと

図書　となりのイスラム　内藤正典

図書　心の居場所になれたら　廣瀬久子

図書　発達障害の僕が輝ける場所をみつけられた理由　栗原 類



DVD　いのちと死の授業 第1巻 難病と闘ってきづいたこと　伊藤美奈子、相場誠一 総監修

DVD　いのちと死の授業 第2巻 殺処分から救われ人を助ける犬に　伊藤美奈子、相場誠一 総監修

図書　もっと知りたい！話したい！セクシュアルマイノリティ　日高庸晴 著

図書　サッカーと人種差別　陣野俊史

図書　顔ニモマケズ　水野敬也

図書　塔和子全詩集　第一巻　塔和子

図書　はじめてみよう！これからの部落問題学習　ひょうご部落解放・人権研究所 編

図書　Q&A部落差別解消推進法積極的活用のために　部落解放同盟中央本部 編

消費者相談のご案内

消費者トラブルなどで困ったときは一人で悩まずに「消費者ホットライン」188にご相談ください。
地方公共団体が設置している身近な消費生活センター等御案内します。
※祝日は、すべての消費生活センターが休所しています。

徳島県 危機管理部 消費者くらし安全局 消費者くらし政策課　電話番号 088-621-2175

いやや 188と覚えてね

あいぽーとスタディ

12月7日（木）、県政視察バスツアー事業（徳島県主催）が実施され、入田中学校1・2年生10名があいぽーと徳島に来館、ワークショップと施設見学により、人権について学習をされました。

ワークショップでは、CAPとくしま　日下智賀子代表、美馬マキさんを講師として、「自分の心とからだを大切にしよう！」とのテーマにより、楽しく学ばれました。

●参加された生徒の感想

○ワークショップは初めての体験で、発表するのは恥ずかしかったけど楽しかった。人権について友達と話し合って、その大切さが良くわかった。これから、人のことと自分のことを、もっともっと大切にしたい。

○人権について自信を持つことを教わって、自分に自信が持てた。また、自分のことだけでなく相手のことも考えることのできる人になりたい。

あいぽーと徳島の紹介動画情報

徳島県ホームページにて情報発信されている「もっと！OUR徳島＋（プラス）11月号」において、あいぽーと徳島を紹介する動画が掲載されています。是非ご覧ください。

徳島県ホームページ（トップページ）下方 県広報 をクリック ▶ 広報誌 をクリック ▶ 「もっと！OUR徳島＋（プラス）11月号」 よりご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=YtbJW55m88&feature=youtu.be

平成29年度 国際理解支援フォーラム 2017 International Understanding Forum

国籍や文化の異なる人々が、互いの文化を理解しながら共に暮らしていく多文化共生のまちづくりを推進するため、国際理解支援フォーラムを開催します。

入場無料 ※要申込

●日 時 ／平成30（2018）年1月21日［日］午後1時～午後4時30分
●場 所 ／（公財）徳島県国際交流協会（とくしま国際戦略センター）会議室
（徳島市寺島本町西1-61　徳島駅ビル クレメントプラザ6階）

内容
●第1部 ／ 講 演「半世紀にわたる世界の国々との関わりの中で ～人口減少社会における外国人の受け入れと異文化理解～」
講 師：青木 弓夫 氏
徳島市出身、NPO法人和食文化とおもてなし促進機構専務理事 並びにドルドイ・ジャパン（東京）社長
●第2部 ／ 国際理解プレゼンテーション（在住外国人講師）
◆車 載貞（シャ ゼジョン）氏［韓国］
◆アパルナ マタレ（Aparna Matale）氏［インド］
●第3部 ／ 意見交換　交流会

●問い合わせ・申込先
（公財）徳島県国際交流協会（とくしま国際戦略センター）
徳島駅ビル クレメントプラザ6F
電話:088-656-3303　FAX:088-652-0616 E-mail:coodinator3@topia.ne.jp